

三木の歴史を感じて……。

三木湯の山街道と三木鉄道記念公園散策コース

コース 三木駅～三木鉄道記念公園～旧玉置家住宅～湯の山街道～恵比須駅
(約4キロ・家族向)

歩行時間 約1時間10分

「三木鉄道記念公園」を訪ねて、歴史と自然があふれる金物のまち三木をのんびりと散策してみました。

2008年4月1日に廃止となった三木鉄道の三木駅跡が「三木鉄道記念公園」①として生まれ変わりました。駅舎は、ギャラリースペースや地域交流室となり、旧車庫を利用した「MIKI夢ステーション」②は惣菜等の販売や食事処として活用されています。(月・木曜定休)

神鉄三木駅を降り、薬局前の信号を渡り、米穀店前で左手の道を直進します。約10分ほど行くと県道360号線に合流。左に折れ、末広橋を渡り、約10分で三木鉄道記念公園に到着します。平日にもかかわらず地域住民や見物客が訪れていました。

公園内を散策した後、次の目的地「旧玉置家住宅」に向かいます。

三木鉄道記念公園前から道路を東へ。本町交番前信号を横断してしばらく行くと大宮八幡宮の石の鳥居があり、ここを左に折れ、とりす美容室で左に折れると前方に旧玉置家住宅③が見えます。



旧玉置家住宅(国登録有形文化財)は1826年に、上州館林藩の財政建て直し策を図るため、切手会所(現在の銀行)として建てられたことを始まりと言われてます。旧玉置家の住宅となったのは、1875年のことで、この建物は江戸、明治、大正、昭和、平成と三木の時代の変遷をみてきました。(入館無料・火曜日休館)

見学の後、元の道まで戻り左へ進みます。前方にナメラ商店街のアーケードが見えます。商店街を抜け、神鉄の高架を潜り右へ。三木上の丸駅前の信号を横断し、小さな平山橋を渡ると前方に湯の山街道の道標。右に折れ湯の山街道を散策しながら恵比須駅に向います。

湯の山街道は秀吉が三木城攻めをしたおり、三木から湯の山(有馬温泉)まで、何度も往復した街道です。以来、この道は湯の山街道と呼ばれるようになり、徳川時代も参勤交代や西国からの湯治客が往来しました。恵比須駅までの道沿いには社寺や昔ながらの家屋④が数多く点在しています。約30分ほどで恵比須駅に到着します。のどかな風景が広がる三木のまちを散策してみませんか。

